

令和2年1月の労働市場の動き

(求人倍率)

- ・ 大阪府の令和2年1月の有効求人倍率(季節調整値)は1.65倍となり、前月より0.11ポイントの低下となった。
- ・ 新規求人倍率(季節調整値)は2.52倍となり、前月より0.34ポイントの低下となった。

(求人・求職の動き)

- ・ 1月の新規求人数(季節調整値)は前月比14.4%減となり、有効求人数(同)は前月比4.8%減となった。
- ・ 新規求職申込件数(季節調整値)は前月比2.8%減となり、有効求職者数(同)は前月比1.3%増となった。
- ・ 1月の新規求人数(原数値)を前年同月と比較すると13.5%減となった。これを主要産業別にみると、建設業(前年同月比9.0%減)、製造業(同25.3%減)、情報通信業(同14.5%減)、運輸業、郵便業(同15.2%減)、卸売業、小売業(同17.5%減)、学術研究、専門・技術サービス業(同20.0%減)、宿泊業、飲食サービス業(同17.3%減)、生活関連サービス業、娯楽業(同4.6%増)、教育、学習支援業(同1.4%減)、医療、福祉(同7.9%減)、サービス業(他に分類されないもの)(同19.4%減)となった。

